

ニオイ悩みを有する生活者の体臭実態を調査 ～センサーを活用した機械学習モデルの構築も推進～

株式会社ファイントウデイ（本社：東京都港区、代表取締役 社長 兼 CEO：小森哲郎、以下「当社」）は、「ニオイ悩み」を抱える女性の体臭実態を調査するとともに、官能評価（人間の嗅覚による評価）とニオイセンサーによる測定データを組み合わせた機械学習モデルの構築に取り組み、その成果を第 36 回におい・かおり環境学会（2026 年 8 月 24 日～25 日・東京都）にて発表しました。

■背景

「見えない悩み」である体臭に関する悩みは生活の質に影響を与えかねない重要な問題です。

当社は、「エージーデオ24」など生活者のみなさまのニオイ悩みに寄り添うブランドを展開する企業として、ニオイ悩みについてのより深い理解や知見を得ることでその解決に役立てるべく、実態を調査しました。

また同時に、官能評価において避けられない評価者間の評価のばらつきを抑制し、より客観的かつ高効率なニオイ評価手法の確立に向け、ニオイセンサーによるニオイ情報と官能評価の結果を組み合わせた機械学習モデルの構築にも取り組みました。

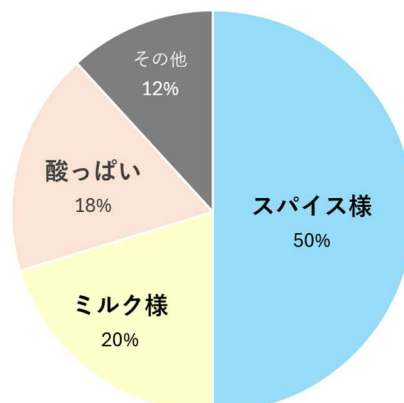
■研究内容

【研究①】ニオイ悩みの実態調査

体臭の中でも腋窩（ワキ）のニオイ悩みを有する、首都圏在住の 20～50 歳代の日本人女性 106 名を被験者として、専門家による官能評価を実施しました。

その結果、腋窩のニオイ悩みを有する被験者のうち半数が、いわゆる「スパイス様」のニオイを持つことがわかりました。また、ストレスや更年期、食生活、睡眠時間と体臭の関連について被験者アンケート結果を基に検証を行いましたが、ニオイ強度との関連は確認されませんでした。

このことから、「スパイス様」のニオイの原因成分のニオイ認知閾値が低く、自覚的なニオイ悩みとして認識されやすい可能性が示唆されました。



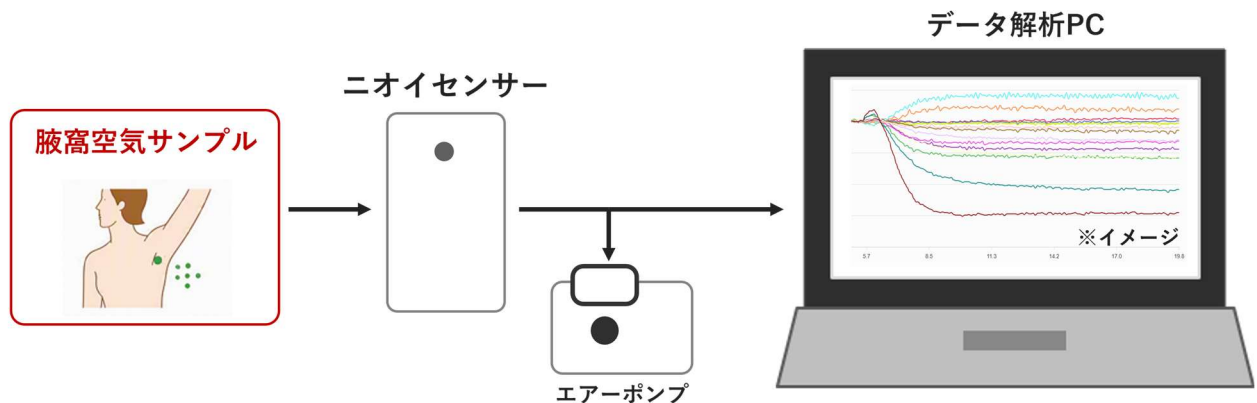
ニオイタイプ割合（被験者数：106 名）

【研究②】機械学習モデルの構築

ニオイセンサーで測定した腋窩のニオイ成分データと官能評価（ニオイタイプ・強さ）を機械学習モデルに学習させ、ニオイ判定を行いました。

その結果、いわゆる「ミルク様」のニオイでは官能評価との一致性が相対的に低かったものの、「スパイス様」および「酸っぱいニオイ」では、高い一致性が確認され、特に「スパイス様」のニオイではその強さについても正答率 80%超の高い精度で判定できました。

このことから、本研究における機械学習モデルが、ニオイ評価の客観化・効率化に向けた技術基盤となる可能性が示されました。



ニオイセンサー測定フロー（イメージ図）

■今後の展望

当社は、「世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにすること」というパーパス（存在意義）のもと、使うことで気持ちが前向きになるような、単なる日用品を超えた「日用美品」をお届けしています。

今後もパーパスの実現に向け、ニオイ悩みについてさまざまな角度からの研究に取り組むとともに、機械学習モデルのブラッシュアップを進め、定量的・網羅的なデータをより効率的に収集することで、ニオイ悩みに関する知見をさらに積み重ね、生活者のみなさまのお悩みの解消に貢献してまいります。

<関連 URL>

公式ウェブサイト：<https://www.finetoday.com/jp/>

以 上

■ファイントゥデイグループについて

ファイントゥデイグループは、2021年に資生堂のパーソナルケア事業から独立して創業しました。

私たちは、世界中の誰もが、素晴らしい一日を紡ぎ、いつまでも美しく、豊かな人生を送れるようにすることをパーパスに掲げ、その達成に向けて地球環境および社会の持続可能性と、収益性ある成長を一体化させて推進しています。

私たちのDNAに由来する美意識は、洗練されたオペレーション、独自の価値提供、グローバルな行動様式などに受け継がれています。

私たちは、世界中の人々にときめきを通じてウェルビーイングを届ける、アジア No.1 の日用美品の創造企業となることを目指しています。